

5月20日

校長 藤田 雅彦

5月20日（金）、好天に恵まれて『大谷口小学校50周年記念行事』として、①人文字航空写真撮影、②全体写真撮影、③クラス写真撮影、④バルーンリリースが行われました。これは、昨年度発足された開校50周年記念事業実行委員会の皆さんと教職員、そして子どもたちのみんなが進めてきた取組の一つです。実行委員会の皆さんにはこれまでも、業者選定や「学校マスコットキャラクター募集・選定」（“おだるまる”に決定！）と、子どもたちが主役の行事にしようと取り組んでいただき、この日を迎えました。当日の子どもたちの活躍ぶりを写真で振り返ります。



人文字航空写真デザイン
～おだるまるを囲んで～

①「人文字航空写真の撮影」

6:40 業者の方3名による校庭のライン引きが始まりました。登校した子どもたちは、教室で配られたカラーエプロンを頭からかぶり、待機します。

9:15 放送に従って担任先導で高学年から校庭へ、所定の位置に移動を開始します。

9:40 業者の方の指示で、上空のセスナに向かってカラーエプロンを広げ、はいポーズ。ドローンによる撮影も一緒に行います。

②「全体写真の撮影」

10:00 トイレ・給水休憩の後、高学年（4～6年）、低学年（1～3年）に分かれ、校舎4階のカメラマンに向かって笑顔を送ります。

③「クラス写真の撮影」

10:40 体育館2カ所、同時進行でクラス写真の撮影を行います。手には、「将来なりたいもの」を書いたカードをもって。この写真は、『宇宙プロジェクト』の一環として宇宙飛行士と共に宇宙に飛び立つ予定です。（来夏予定）

④「バルーンリリース」

12:30 給食時間中、実行委員会とバルーンリリースサポートの皆さんは昇降口に集合し、打合せを行います。午前中からヘリウムガスを注入し、将来の夢を書いたリリースクリップをセットしたバルーンを校庭に運びます。風の影響でバルーンが地面と擦れ割れてしまうものも。両手で押さえて大汗です。

13:10 6年生から順に校庭の指定された場所へ移動し、バルーンを受取ります。多くの保護者の方にも見守られ金管バンドの皆さんのファンファーレ、代表委員2人の合図で色とりどりのバルーンは大空へ。

⑤引渡し下校へ

子どもたちは、朝からフル回転の忙しい一日でしたが、ここまでの準備も含め、実に多くの方々の御協力があった、子どもたちの思い出に残る一日とすることができました。本当に御協力、ありがとうございました。この日の様子は、お家でも話してくれましたか？ぜひ聞いてみてください。この後は、お祝い給食(6/23)、記念式典(11/26)へと進みます。

